学校番号	３０２３

令和２年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語	4	第２学年 文理学科	教科書 「PRO-VISION English CommunicationⅡ New Edition」（桐原書店）「PRO-VISION English CommunicationⅡ Advanced Exercises 」（桐原書店） リスニング 「Listening Essentials 2.5」(啓隆社) 「CNN Workbook Extended Course」(朝日出版社)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、１年生で培った「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力を発展させる授業です。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーション及び大学入試でどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。

・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（４単位）及び「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆身近なトピックに関してわずかな時間の準備で1分程度のスピーチができる。 ◆その際には具体的な理由を添えて自分の意見を述べることができる。 ◆与えられたトピックについて簡単な理由を添えて即興で自分の考えを述べることが出来る。	総合英語/英語表現Ⅱ ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ ・定期考査	◆複数の段落で序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 ◆自分のよく知っているトピックに関して参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。	総合英語/英語表現Ⅱ ・ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞ ・定期考査	◇はっきりと話されれば身近なトピックについてのニュースの要点を聞き取ることができる。 ◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスなどを聞いて、大切なポイントを漏らさず、概要を把握することができる。	総合英語/英語表現Ⅱ ・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ ・定期考査	◇まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを押さえながら、全体の要旨を理解することができる。 ◇難しい部分を読み返すなどしながら、高度な内容について精読できる。	総合英語/英語表現Ⅱ ・音読テスト ・定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

定期考査：平常点＝８０：２０

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 （5 時間） The Freedom to Be Yourself	漫画家ヤマザキマリ氏が海外での生活や旅を通して学んだボーダーレスの生き方やその哲学について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・イタリア留学での様々な出会いを通して多様性受容の姿勢を学んだヤマザキ氏について情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にイタリア留学した漫画家ついてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ①　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・イタリア留学での様々な出会いを通して多様性受容の姿勢を学んだヤマザキ氏についての情報を適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ②　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・イタリア留学での様々な出会いを通して多様性受容の姿勢を学んだヤマザキ氏について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去の習慣 would ・過去の回想表現 ・過去分詞で始まる分詞構文	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・過去の回想表現を理解している。 ・過去分詞で始まる分詞構文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson2 （5 時間） Are you Really a Sloth?	怠惰のレッテルを貼られたナマケモノの進化の過程と森と共存するその平和な生態について知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ナマケモノの生態について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にナマケモノの生態についてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ①　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・ナマケモノの生態について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ②　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・ナマケモノの生態について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在のことについて語る表現 ・完了形の分詞構文 ・助動詞＋have＋過去分詞	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在のことを語る表現の使い方を理解している。 ・完了形の分詞構文の使い方を理解している。 ・助動詞＋have＋過去分詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson3 （5 時間） Mount Fuji －The Eternal Mountain	ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山を通じて，日本の伝統文化に加え，それらが他国に与えた影響について理解する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・富士山について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に富士山についてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ①　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・富士山について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ②　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・富士山について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・未来表現 ・無生物主語 ・不定詞結果用法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・未来表現の使い方を理解している。 ・無生物主語の使い方を理解している。 ・不定詞の結果用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 （配当時間）		単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson4 （5 時間） Handwriting in the Digital Age	デジタル化社会における手書きの効用を描いた英文を読み理解する．	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・デジタル化社会における手書きの効用について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にデジタル化社会における手書きの効用についてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ①　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・デジタル化社会における手書きの効用について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ②　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・デジタル化社会における手書きの効用について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・形容詞の叙述用法 ・倒置 ・前置詞＋関係詞	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・形容詞の叙述用法の使い方を理解している。 ・倒置の使い方を理解している。 ・前置詞＋関係詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson5 (5 時間) Designed to Change the World	デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みについて知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ユニバーサルデザインについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にユニバーサルデザインについてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ③　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・ユニバーサルデザインの重要性について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ④　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・ユニバーサルデザインについて読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・後置修飾 ・関係副詞の非制限用法 ・wh-ever	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・後置修飾の使い方を理解している。 ・関係副詞の非制限用法の使い方を理解している。 ・wh-ever の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson6 (5 時間) The First Olympics	古代オリンピック発祥から近代オリンピック復活までの歴史について学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・オリンピックについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にオリンピックついてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ③　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・オリンピックについて適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ④　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・オリンピックについて読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・否定構文 ・挿入 ・with＋名詞＋～	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・否定構文の使い方を理解している。 ・挿入語句について理解している。 ・with＋名詞＋～の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson7 (5 時間) The Dark, Mysterious Universe Deep Under the Ocean	さまざまな深海生物の生態を知り，宇宙生命が存在する可能性までを考察する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・深海生物について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に深海生物についてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ⑤　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・深海生物について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ⑥　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・深海生物について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較構文 ・不定詞 ・副詞表現	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較構文の使い方を理解している。 ・不定詞の使い方を理解している。 ・副詞表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)		単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson8 (5 時間) The Story of the Teddy Bear	ハンディキャップを乗り越え，世界中の人に愛され親しまれているテディベアを製作したマルガレーテ・シュタイフの人生について知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・テディベアについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にテディベアついてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ⑤　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・テディベアについて適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ⑥　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・テディベアについて読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法構文 ・省略 ・there を用いた表現	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法構文の使い方を理解している。 ・省略を用いた表現の使い方を理解している。 ・there を用いた表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson9 (5 時間) Laughter is the Best Medicine	笑いのメカニズムを科学的・心理学的・社会学的観点から考察する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・笑いのメカニズムについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に笑いのメカニズムについてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ⑦　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・笑いのメカニズムについて適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ⑧　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・笑いのメカニズムについて読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・名詞節 ・seem を用いた表現 ・直接話法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・名詞節の使い方を理解している。 ・seem の使い方を理解している。 ・直接話法使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson10 (5 時間) The Underground Reporters	ナチスによる迫害を受けたユダヤ人の少年少女たちが，自分たちの自由と誇りを守るために手作りの新聞を発行した史実を知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ナチスによるユダヤ人迫害について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。	・各セクションを読む前にナチスによるユダヤ人迫害ついてのワークシートを予習としてさせる。	・Can・Do リスト ⑦　②③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・ナチスによるユダヤ人迫害について適切に書く。	・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。	・Can・Do リスト ⑧　③	・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・ナチスによるユダヤ人迫害の最中に発行された少年たちの新聞について読んだことを理解する	・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・Can・Do リスト ④	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・接続詞 ・suggest that＋S＋(should)動詞の原形 ・be to do	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・接続詞の使い方を理解している。 ・suggest that＋S＋(should)動詞の原形の使い方を理解している。 ・be to do の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。